



2021年11月9日

環境配慮型住宅に対する「サステナブル住宅ローン」の取組みについて
～「千葉・横浜パートナーシップ」連携施策【Vol.31】～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 大矢 恭好）との業務提携「千葉・横浜パートナーシップ」に基づく連携施策として、環境に配慮した住宅に対して通常よりも条件を優遇する「サステナブル住宅ローン」の取組みを開始します。

政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、太陽光パネルを設置するなどの環境配慮型住宅の普及は重要な取組みとして位置付けられています。当行と横浜銀行はこのたび、本取組みを金融面から支援するため、本ローンを共同で企画しました。

今回、第一弾として、野村不動産株式会社が11月中旬より販売する新築分譲戸建「プラウドシーズン 南柏サウスアベニュー」（太陽光パネルを全区画に搭載）において本ローンを提供し、住宅購入者さまおよび野村不動産株式会社の温室効果ガス削減に寄与する取組みを支援いたします。

当行は、今後もさまざまな連携をつうじて、脱炭素社会の実現に向けた取組みを積極的に推進し、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

【千葉銀行における本ローンの概要】

対象住宅	プラウドシーズン南柏サウスアベニュー（千葉県柏市）全18戸
取扱店舗	千葉銀行 提携ローンセンター
優遇内容	①自然災害時支援特約付帯時の上乗せ金利を0.05%優遇 ②11 疾病団信付保時の上乗せ金利を0.05%優遇 ③全傷病団信付保時の上乗せ金利を0.10%優遇 ※①と②、①と③での併用（最大で0.15%優遇）が可能

以上